

2019年度 事業報告書

一般社団法人 カーテンウォール・防火開口部協会

自 2019年4月 1日

至 2020年3月 31日

2019年度事業については、会員はじめ関係各位のご理解とご協力により、カーテンウォール及び防火戸の健全な普及等を図るための諸事業が実施されました。ビル防火戸は2019年3月31日をもって、その通則的運用を停止致しました。通則的認定から個別認定への移行推進をはじめ、事業別の概要は次のとおりです。

1. カーテンウォール関係事業

- (1) CW 技術・材料部会にて、カーテンウォール技術的助言の仕様拡大を検討する為の、防火試験を行いました。
- (2) メタルカーテンウォール受注実績の調査（調査集計の都合から2018年度のものです。）当協会会員による2018年度のメタルカーテンウォール受注実績は、5社で件数2,086件（対前年度比109%）、面積821千㎡（同95%）となりました。
- (3) 各団体への協力（委員派遣等）
次の活動に対し、参画協力等を行いました。
 - ① （一社）日本サッシ協会からの要請により、ISO TC162 国内審議委員会のカーテンウォール試験方法 WG5 に委員を派遣致しました。
 - ② （一社）日本建築学会へシール材性能設計小委員会に委員を派遣致しました。
 - ③ （一社）公共建築協会の公共建築工事監理指針の改定を委員として行いました。

2. 防火戸（防火設備）関係事業

- (1) 防火戸（防火設備）についての対応
 - ① ビル防火戸については、2019年3月31日の運用停止日までに契約し、弊協会に工事登録された物件は、通則的運用に基づく認定品が使用出来る事としております。（住宅用については2013年12月をもって、通則品の取扱いを終息しており、メンテナンスによる住宅用証明証紙は2019年度500枚の発行実績となりました。）
 - ② 2019年度（平成31年度）基整促「F16 新たな基準に対応した防火設備の告示化及び評価方法の検討」委員会及び検討部会に参画をしております。
 - ③ 告示改正された防火設備の参考資料（解説）の作成を行いHPに掲載しました。

(2) ビル用防火戸

① 企画広報関係

イ) 証明証紙の発行	2019年度実績	(2018年度績)
・一般証紙（KD・フロント含む）：	1,498,100 枚	(1,366,800 枚)
・その他証紙（他の EB・CAS）：	4,400 枚	(1,800 枚)
・ビル用証紙計：	1,502,500 枚	(1,368,600 枚)

ロ) KD・フロント取扱い事業者

(2020年3月31日KD・フロント取扱い事業者登録制度の運用を停止。)

- ・2020年3月末現在登録事業所数：2,640事業者（前年度：2,640事業者）

② 品質管理関係

- ・工場立入検査

2019年9月アルミ4工場（熊本・広島）

2019年10月アルミ2工場（埼玉・新潟）

2019年11月アルミ2工場（埼玉・富山）

アルミ8工場について協会担当委員による立入検査を実施致しました。

③ 技術関係

- ・技術資料作成及び説明会の実施

告示改正された防火設備についての資料をまとめました。今後、会員向けに説明会を開催する予定です。

連窓、段窓の対応検討（建築基準法 施行令 107条に基づく）を行いました。

④ 審査関係

- ・凍結方針のため、商品の防火性能に係らない申請について審査を行いました。

(3) 住宅用防火戸

① 企画広報関係

イ) 住宅用防火戸取扱い事業所

- ・定期講習会

2020年2月に東京・大阪の2会場で開催し、27事業所（31名）が受講を修了しました。

- ・登録更新

2020年3月末現在登録事業所数：5,536事業所（前年度：5,514事業所）

ロ) 住宅防火戸取扱い事業所審査・調査

- ・住宅防火戸取扱い事業所状況調査

全国の登録事業所のうち、昨年7月～9月に1,000事業所を対象に状況調査を行いました。協会に対する要望では、「補助金、税制活用情報」が最も多くありました。

ハ) 情報・連絡等

- ・会報「窓快」の発行

2019年7月に住宅サッシ・防火戸会報「窓快」11号（部数9,000部）を発行しました。

- ・メルマガの発信

毎月1回、住宅サッシ・防火戸取扱い事業所向けに、協会案内、お役立ち情報、統計情報等についてのメールマガジンを発行しました。

② 技術品質関係

- ・ガラス等に関連する共通技術課題に関する検討を行いました。

- ・申請の審査

凍結方針のため、商品の防火性能に係らない申請について審査を行いました。

(4) 防火性能・専門合同委員会（委員長 菅原進一 東京理科大学名誉教授）

2019年5月、11月に同委員会を開催し、本協会の関係部会による審査結果及び関連活動等について確認致しました。

- (5) 生産実績の調査（調査集計の都合から 2018 年度のもので。）
当協会会員による防火戸生産実績は、次のとおりです。

① 防火設備	単位：窓	2018 年度	(2017 年度)
・ EB-9101～9108 (旧 2 号)	：	1,267,126	(1,277,522)
(アルミニウム合金製はめ殺し窓～アルミニウム合金製引き自動ドア)			
・ EB-9111～9119 (旧 4 号)	：	0	(0)
(アルミニウム合金製はめ殺し窓～アルミニウム合金製巻上げ窓シャッター)			
・ EB-9121～9124 (旧 5 号)	：	0	(0)
(木質系はめ殺し窓～木質系開き窓)			
・ EB-9131～9133 (旧 6 号)	：	749	(791)
(耐熱板ガラス入り鋼製はめ殺し窓～耐熱板ガラス入り鋼製引き自動ドア)			
・ EB-9141 (旧 7 号)	：	19	(8)
(木質系開き戸)			
・ EB-0275	：	0	(0)
(アルミニウム合金製折りたたみ戸)			
防火設備合計	：	1,267,894	(1,277,321)

② 複合防火設備	単位：窓	2018 年度	(2017 年度)
・ CAS-0259 (CAS-0004)	：	140	(236)
(木質系開き戸／準耐火構造壁・床付き)			
・ CAS-0260 (CAS-0003)	：	217	(138)
(耐熱板ガラス入り鋼製開き戸／準耐火構造壁・床付き)			
・ CAS-0261 (CAS-0141)	：	141	(123)
(耐熱板ガラス入り鋼製引き自動ドア／準耐火構造壁・準耐火構造床付き)			
複合防火設備合計	：	498	(497)

以上、防火設備・複合防火設備の 2018 年度合計生産量は、1,268,392 窓
(2017 年度 1,277,818 窓) で、対前年度比 99.2%でした。

3. その他の事業活動（*は（一社）日本サッシ協会と共同）

(1) 施工管理者安全推進大会の開催*

2019 年度施工管理者安全推進大会を、東京及び大阪で 6 月に開催致しました。

(2) 登録サッシ・カーテンウォール基幹技能者講習の取組*

国土交通大臣登録制度のもとで、2019 年度の「登録サッシ・カーテンウォール基幹技能者講習」の登録講習および試験を長野、郡山、四国会場で実施し、新たに 37 名が合格し、累計 1,083 名が登録基幹技能者になっております。

(3) 積算資格の認定*

第 19 回サッシ・カーテンウォール積算資格の認定については、2019 年 10 月に事前説明会、11 月に認定試験（全国 7 地区で受験者 790 名）を実施、その結果、アルミ 1 級 11 名、同 2 級 86 名、同 3 級 268 名、スチール 1 級 49 名、同 2 級 91 名、同 3 級 119 名が合格し認定書を交付致しました。

(4) CW技能検定への協力*

2019年度カーテンウォール施工技能検定（東京都）は、2020年1月19日に実技試験、2月2日に学科試験が行われ、これに協力致しました。

(5) 建設マスターの推薦*

当協会から推薦された3名が、2019年10月の顕彰式で「優秀施工者国土交通大臣顕彰（建設マスター）」を授与されました。

(6) 社会保険の加入及び建設キャリアアップシステムの普及促進*

2013年10月より法定福利費を明示した標準見積書の活用を一斉に開始しております。また、2019年10月にサッシ・カーテンウォール技能者を対象とした、建設キャリアアップシステムの「能力評価基準」が国土交通省から認定されました。2019年5月及び2020年2月開催の「第2回及び第3回建設業社会保険推進・処遇改善連絡協議会」に参加し、社会保険の加入及び建設キャリアアップシステムの普及促進への理解を深め会員企業へ更なる普及促進を図ってまいります。

(7) 行政・関係団体との連携等

国土交通省をはじめ、（一財）建設業振興基金、（一社）建設産業専門団体連合会、（一財）日本建築防災協会、防火材料等関係団体協議会、板硝子協会等の関係団体を通じて意見交換、情報収集等の連携が図られました。

(8) ホームページによる情報提供等

技術情報及び防火戸の通則的認定から個別認定への移行について、協会ホームページへの掲載を行いました。

4. 会議の開催（*は（一社）日本サッシ協会と共同）

① 総会1回（2019年5月28日）

② 理事会3回（2019年4月・9月・11月）

書面による理事会決議1回（2020年3月）

③ 会務運営委員会*	9回
④ 委員会・部会	
ビル防火戸認定委員会	3回
技術部会	9回
審査部会	10回
品質管理部会	9回
企画広報部会	10回
耐熱板ガラス部会	5回
住宅防火戸認定委員会	4回
企画・広報部会	12回
技術・品質部会	6回
CW地方部会（大阪）	1回
防火性能委員会・防火性能専門委員会	2回
CW技術・材料部会	6回
施工管理部会*	

5. 会員の状況

(1) 入退会等の動き

入退会：ゼロ

(2) 会員数

2020年4月1日現在の会員数は、次のとおりです。(()内は前年度)

一種正会員： 4社 (4社)

二種正会員： 1社 (1社)

三種正会員： 28社 (28社)

賛助会員： 10社 (10社)

計： 43社 (43社)

附属明細書

(3) 会員及び役員名簿

2020年4月1日現在の会員及び役員は、別紙のとおりです。

別紙 1：会員名簿

別紙 2：役員名簿